



# 飯能ロータリークラブ会報

桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

## “ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を”

RI会長  
ロンD.バートン  
2570地区ガバナー  
中井 眞一郎

継続 変革 簡素 充実

第 2591 例会 2014. 4. 16

—— 雑誌 月 間 ——

天 候 晴 (NO. 50-42)

会 長 吉田武明 幹 事 山岸敬司

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当 番 半田君、服部君

例会場：マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8  
☎(042)974-4000

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7  
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662  
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・ 点 鐘 吉田武明会長
- ・ ソング それでこそロータリー
- ・ 卓 話 須田 勉様

### 【会長報告】

地区よりパブリックコメントのお願いと、ロータリーの森奉仕活動への参加依頼(社会奉仕)、2013-14年ライラダー案内(青少年奉仕)が来ております。先週、研修に土屋(良)委員長と参加、研修が修了しましたのでカウンセラー委嘱状を地区より委員長にお渡しします。

### 【幹事報告】 高橋副幹事

- ・ 4 / 20 地区研修協議会。 4 / 22 ・ 23 ・ 25 ・ 26 炉辺会談、満寿家 18時半～。

### ◎例会変更のお知らせ

#### ◇新所沢RC

- ・ 5 / 6 (火) 休会 (法定休日)
- ・ 5 / 20 (火) 例会取消 (定款6-1-C)
- ・ 5 / 27 (火) 移動例会 長青寺 18時半
- ・ 6 / 3 (火) 例会取消 (定款6-1-C)
- ・ 6 / 24 (火) 移動例会 (今年度最終例会)

#### ◇所沢中央RC

- ・ 4 / 28 (月) 振替休会  
4 / 22 新所沢RCとの合同例会
- ・ 5 / 5 (月) 例会取止 (法定休日)
- ・ 5 / 19 (月) 振替休会 5 / 18 足尾銅山植樹
- ・ 5 / 26 (月) 移動例会
- ・ 6 / 30 (月) 最終例会 (移動例会)

### 【委員会報告】

◎会報・広報委員会 前島君  
会報写真がPhoto by Hiroyuki Maejimaに変更。先々週役員会で承認頂き早速撮りました。

95年、大浦年度の大附委員長の時から18年続いた写真を変えてしまい申し訳ございません。夏・秋・冬は次年度大野委員長にお願いします。◎雑誌委員会 馬場君

「友」4月号紹介。表紙は鎌倉大仏が前屈みで「桜に酔う」。岩倉市・桜祭りのイベント「のんびり洗い」、いいところだなと思いました。横組P16「元気な笑顔のために」米国RCの被災者支援の紹介。縦組P4「枯山水と日本の心」枅野住職・庭園デザイナー。文化の違い、座禅等。日高RC高木会員夫人の投稿が掲載。

### ◎親睦活動委員会 吉田(行)君

4 / 18 飯能日高親睦ゴルフ会、飯能ゴルフ。親睦旅行費の振込をお願いします。

### ◎ロータリー情報委員会 半田君

炉辺会談、本日18時～暖らん。橋本、加藤会員より卓話。細田(吉)会員には例会での卓話を有難うございました。また機会を設けます。

### 【出席報告】 無断欠席なし 福島出席委員

会 員 数		当 日		前々回修正
全 数	対 象	出席数	出席率	出席率
61名	6名	56名	91.23%	91.07%

### 【M U】

4 / 8 (入間南) 沢辺君

### 【S A A 報告】

#### ◎ニコニコBOX

- ・ 須田先生、本日は卓話よろしくお願ひ致します。有難うございます。大附君、和泉君、市川(昭)君
- ・ 誕生日お祝い有難うございました。東清州記念品有難うございました。 沢辺君

・早退 安藤君、杉田君、服部君  
本日計 10,000 円、累計額 1,151,136 円。  
◎ 23 日例会当番は細田(吉)、石井会員です。

## 【卓 話】

講師紹介 和泉プログラム委員

1945年、東吾野の平戸のお生まれ。69年、早稲田大学教育学部を卒業、「長屋王の政権と地方政策に関するの考古学的研究」で文学博士号。文化庁の文化財調査官を経て、現在、文化庁文化審議会専門委員。国土館大学文学部教授。日本の考古学の重鎮。著書多数。高麗郡建郡1300年、高麗浪漫学会のシンポジウム講演等、地域貢献。中央でもご活躍です。

## 高麗郡の建郡と1300年問題

国土館大学教授・考古学博士 須田 勉 様

1300年前は日本の国のかたちが出来上がった頃。古代社会がそれから400年続き、武士社会が800年、明治維新を経て今日に至る。維新からは150年。維新に王政復古で古代の政治体制に動いたわけで1300年の話は今日にまで続いているという事になる。TV等では戦国時代や幕末がよく取り上げられるが実はそれ以前の時代に「国のかたち」という重要な問題が含まれている。

716年、相模・上総・下総・常陸・下野・甲斐・駿河の7か国に散らばっていた高麗人を1か所に集め高麗郡建郡。渡来人の数は「1,799人」だった(『続日本紀』)。

建郡の目的は2つ。1つは、新しい法律に基づく国のかたちをつくるという時に、その体制を行き渡らせるため、行政組織を細分化して徹底させた。

もう1つ。中国に滅ぼされ高句麗から多くの難民が日本にやって来た時、王族が複数居り、優秀な人達が中心だった。「666年、高句麗国は大使・乙相奄邨、副使・達相通、玄武若光を遣わす」(『日本書紀』)。「若光」は高麗神社の祭神。援軍を頼みにやって来たがまもなく高句麗が滅び、帰る事が出来なくなって日本に定着、その後難民が入って来る。そういう人達が日本に広く居たわけですから、そこで人間郡の一部を分け「高麗郡」を作るという形が採られる。3、40年続く発掘調査から、建郡以前の状況も分かっていたが、それによると人が住んでいた形跡が見つからず、何もない原野に渡来系の人達が配されたと考えられる。開発目的という事も多く含まれるが、王族が入っているため、高句麗の国を日本の中に取り込んでいくという国家政策が含まれていたのだろうと思います。そうした事が1300年前にここで起こった。飯能に古くから住む人達は、ずっと辿っていくと渡来系の王族の子孫になる可能性もあるわけです。

各地での「1300年祭」は日本の国のかたちが1300年前にほぼ作られ、確立してきた事を記念するもの。4年前の平城遷都(710年)1300年祭では関西の財



記事が掲載された文化新聞

界人が集まり400億円で大極殿を復元しましたが、そこには西川材が2本使われていました。1cmに8~12本の年輪が入っている事が条件で、これは南向きの木では取れない。北側の薄暗い所でじ



くり時間をかけて育った木でなければ8本は入りません。

この地域では秩父で和銅が採れ(708年)、それが中央政府に献じられて、日本で2番目の「和同開珎(わどうかいん)」というお金が造られた。それまで、飛鳥・藤原の都での古い政治が長く続き、因習から脱却する意味で都を移し平城

京を作る事が大きな目的の中にありました。

お金のかかる遷都の財源をどう捻出するか。秩父で銅が採れた事を記念してお金:和同開珎(流通させるためではなく国債のようなもの)を造り、それを買って財源にする事を計画したのが藤原不比等です。1300年問題を実質的に推進した中心人物。私はこの藤原不比等が、日本史上最大の政治家だと思っています。国家の枠組みを決めた人です。

秩父で初めて銅が採れ、その銅で和同開珎を造り年号も「和銅」になったと信じられてきたが、最近の調査で「本当に秩父で銅を採ったのか」という疑問が湧いてきた。山口県美祢市に銅を採掘した跡があり発掘資料を分析すると和銅年間よりもっと早くから始めている。お金を造る役所「鑄銭司(ぎせんし)」も県内に2か所、和同開珎を造っている事が分かった。秩父では坑道の痕跡も出ていない。和同開珎を造っているのは秩父ではなく山口で、遷都費用捻出のために不比等が演出した「でっち上げの話」だったとも言われる。1300年問題は秩父にまで波及している。

701年、大宝律令が完成。長い間、中国でいろんな政治形態が採られて来て、最も優れた方法は法律によって国家を運用する形態だという事で日本はこの制度を導入(律令国家)。「大宝律令」という法律が直接的に国家に影響を及ぼしたのは200年だが、間接的には今日まで続いている。つまり「官僚国家」の原型は1300年前に藤原不比等によって確立されたという事。彼は大化の改新を断行し、最も功績のあった鎌足の次男です。律令の制定は彼を中心に渡来系の人も入った19人のプロジェクト。そして710(和銅3)年、平城京遷都。地方政策の柱として採られたのが、律令体制を細部に徹底させるための“細分化”。そこに高麗郡が位置付けられていたという事です。

中国では、国家が滅びた後、引き継いだ次の国が前の国の歴史を編纂する事が独立国家として必須条件だった。日本はどう生きていくかという時、国のかたちを中国に模倣したわけで、東アジア世界で認められていくためには歴史を創る事、『日本書紀』の編纂がどうしても必要だった。これも不比等が中心に行い、もう1つの架空のもの「聖徳太子」を創り上げた。『日本書紀』の完成は720年。そこに初めて「太子」は登場する。歴史教育の中で「聖徳太子」が生きた時代はそれより100年前。つまり100年前に架空の人物を位置付けて日本の国家の歴史を創った。日本の国の中で「聖徳太子」という人物はすごく大きい存在で「スーパースター」だった。けれども最近の歴史研究では「聖徳太子は架空の人物だろう」という事が明らかになってきており、高校教科書では記述も少なくなってきた。モデルとなった人物としては「厩戸皇子(うまやどのおうじ)」が挙げられる。

高麗郡建郡の背後にあった日本の外交・内政の問題を考えなければ、本当の高麗郡の姿は出て来ないだろうと思っています。1300年を考える事は、今日を考える事に等しいと私は考えております。

※次週の例会案内は省略。